



1982年慶応義塾大学卒業後、アメリカ銀行に入行。トレーディング業務に従事し、1989年バイスプレジデント。1997年日興証券に移り、1999年日興シティ信託銀行為替資金部次長。2002年金融コンサルティング会社アセンダントを設立、取締役就任。

■ オートチャーティストとは

オートチャーティストとは、サクソトレーダーゴー（SaxoTraderGO）で取引できる商品のチャート分析を自動で行い、確率が高いと考えられる売買戦略を表示する取引支援ツールです。チャート分析はテクニカル分析でも最も基本かつ重要なチャートパターン（各種の反転、継続パターン）、キーレベルパターン（トレンドライン）、フィボナッチパターン（リトレースメント等）が完成した場合、あるいは形成中に一覧表示されます。

一覧表示では、各種パターンの詳細、取引を行う場合のターゲット等の情報が表示され、表示する情報をフィルターで絞り込むことが可能です。この売買戦略レポートでは、この一覧表示の中から翌週にも有効と考えられる通貨ペアを毎週3通貨ペア、ピックアップしていくこととします。

■ サクソバンク証券の月曜は長い

今回ピックアップした USDJPY のチャートを見るとわかりますが、サクソバンク証券におけるドル円の年初来安値は 104.550 と他の FX 業者に比べて 8~9pips ほどドル安のレートをつけています。これはサクソバンク証券の週明け月曜の取引が他の業者に比べて3時間早いことに起因しています。

為替市場では1日の区切りが NY クローズ~翌 NY クローズの24時間ですから、一般的には月曜の取引開始は東京時間午前6時（夏時間の場合）となります。多くの FX 業者もそれになっていますが、インターバンク市場はニュージーランドのウェリントン市場から始まりますので午前3時から取引が開始されます。

よく週末に G20 などのビッグイベントがあると、インターバンクディーラーは未明にオフィスに向かい午前3時からの取引に備えることとなります。ビッグイベントをきっかけにドル高にもドル安にも振れることがありますので、そうした場合にインターバンク市場では早朝未明に場外乱闘ですごいレートがついているといった話が出てくるわけです。

サクソバンク証券では、このインターバンクの取引時間に常に合わせて毎週月曜は午前3時から取引が始まります（夏時間の場合）。通常に比べ月曜の取引が3時間長いということになります。今週初のドル円安値 104.550 はまさにこの3時間の間（取引時刻 03:25）についています。もし、利食いの注文で 104.60 を指していたとしたら、他の FX 業者ではつきようのないレートでしたが、サクソバンク証券では執行されたこととなります。

もちろん、逆の立場でストップオーダーがついてしまうということもありますが、一般的にはビッグイベント後でないといふようなことは起きません。今週はどちらかというといふ例外的な印象ですが、ビッグイベント時にもインターバンクディーラーと同じ時間帯で取引が出来るメリットのほうをはるかに大きいと元インターバンクディーラーの一人として考えています。

■ 今週の特徴

今週（執筆日 29 日時点）は季節的にやや特殊なタイミングです。明日 30 日はグッドフライデー、週明け 4 月 2 日はイースターマンデーといふゆるイースター休暇で欧米の主要市場が連休となります。一年の中でもっとも参加者が少ないのがクリスマスイブからボクシングデー（英国ではクリスマスの翌日）の 12 月 25 日を中心としたクリスマスですが、2 番目に参加者が少ないのはこのイースターです。

今回は四半期末と重なることもあって実需以外の動きはかなり減少し流動性も低下することとなります。おそらくこの 1 週間については日足ベースの選択を行うと、どれも動かないということになりかねないので、今回は 4 時間足に限定し、かつ昨日 28 日にシグナルが点灯したばかりの通貨ペアを選択したいと思います。確率は 65% 以上でピックアップします。

この時期でも取引量が相対的に多いという観点から主要通貨の USDJPY と EUR 関連をピックアップします。まず米朝首脳会談期待でリスクオフの巻き返しからドル買いとなっている USDJPY を、そして EUR 関連では USDJPY 同様にドル買いの動きを前提に EUR 売りのシグナルが出ている EURAUD と EURCAD の 2 つをピックアップします。

■ USDJPY

ドル円は先週 23 日につけた 104.630 が最安値ですが、実はサクソバンク証券では今週月曜早朝に 104.550 という安値をつけています（上述コラム参照）。サクソバンク証券のチャートでは、この 104.550 を安値として昨日の 107.010 まで上昇していることとなります。



USDJPY の 4 時間足では 2 月末から続く下降チャンネルを上抜けしたことで一段高の動きを予想しています。もちろん長期的には年初からのドル安トレンドは継続していますが、短期的にはグレーのゾーン(下端 107.58)をターゲットとする動きが今後 44 時間以内と指摘されています。本日の東京前場にはいったん下押しの動きが出ていますので買い場としてはよさそうです。

戦略 : USDJPY の買い (シグナル点灯 3 月 28 日) 執筆時点 106.579

TP=107.58、SL=104.56

■ EURAUD

何もイースター休暇前に EURAUD も無いだろうと思われる方もいるでしょうが、USDJPY 同様に主要通貨関連ということから 2 つ目は EURAUD をピックアップしました。



3 月 22 日安値を起点とした上昇チャンネルの下抜けですが、オートチャートではフラッグ

の下抜けという説明がなされています。しかし、フラッグはコンティニューエーション（継続）パターンの短期型もみあいのひとつであり、本来的には大きな下降トレンドがその前にある場合にフラッグと呼ぶ方が自然です。

個人的には短期上昇チャンネルの下抜けと呼びますが、結果は同じですからピックアップする通貨ペアとしては悪くないと考えます。USDJPY ではドル買いでしたし、この EURAUD でも EUR 売りは EURUSD と AUDUSD に分解した場合、主要通貨の EURUSD はユーロ売りドル買いと方向性が一緒なのもよいと思いました。

ターゲットとしてはグレーのゾーン（上端 1.5994）となっていて、時間的には今後 10 時間以内に到達する可能性が指摘されています。時間的なターゲットとして随分短いですが、そこまで早い展開にはイースター休暇前には起こりにくいのではないかと考えますし、シグナル点灯後に上がっていることから、リスクはより抑えられると言えます。

戦略：EURAUD の売り（シグナル点灯 3 月 28 日）執筆時点 1.60960

TP=1.5994、SL=1.6133

■ EURCAD

最後は EURCAD です。EURAUD 同様に EUR 売り（分解した場合 EUR 側はドル買い）であること、また AUD 同様に CAD も資源国通貨と共通点があり、どちらもユーロ売り・資源国通貨買いという点で共通です。また、先週の CAD は本日時点でどちらも決済しましたが、カナダドル買いの経過をもう少し見たいという方向性とも一致します。



EURCAD ではトライアングルの下抜けとなっています。こちらは短時間で形成されていますので、前回あげた例のペナントとトライアングルの間くらいサイズと言えます。トライアングル

ル形成前の動きが下げであること、下抜けによる売りシグナルとこちらは教科書に近いチャートと言えますので、ピックアップ対象としてもなかなか良いと思います。

ターゲットとしてはグレーのゾーン（上端が 1.5809）となっていて、時間的には今後 7 時間以内に到達する可能性が指摘されています。ただ、EURAUD 同様にそこまで早い動きは時期的に考えにくいと考えられます。

戦略：EURCAD の売り（シグナル点灯 3 月 28 日）執筆時点 1.59212

TP=1.5809、SL=1.6008

【本レポートについてのご注意】

- 本レポートは、投資判断の参考となるべき情報提供のみを目的としたものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- お取引は、取引説明書および約款をよくお読みいただき、それらの内容をご理解のうえ、ご自身の判断と責任において行ってください。本レポートの利用により生じたいかなる損害についても、当社は責任を負いません。
- 本レポートに示した投資に関する情報は、お客様に適切なものであるとは限りません。これらはあくまでも参考として申し述べたものであり、推奨を意味せず、また、いずれの記述も将来の傾向、数値、投資成果等を示唆もしくは保証するものではありません。
- 本レポートは、作成時点において当社が信頼できると判断した情報やデータ等に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性等を保証するものではありません。また、本レポートに記載の情報は作成時点のものであり、今後予告なしに変更することがあります。
- 本レポートの内容は法律によって保護されており、その著作権は当社または当社が契約を締結した情報提供者等に帰属します。その全部か一部かを問わず、当社または情報提供者等は無断で転用、複製、再配信、ウェブサイトへ投稿や掲載等は行うことはできません。